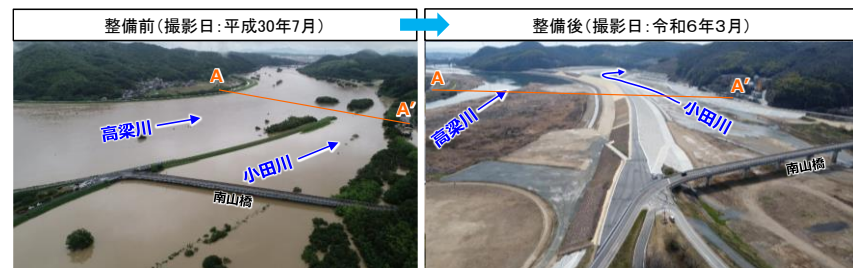
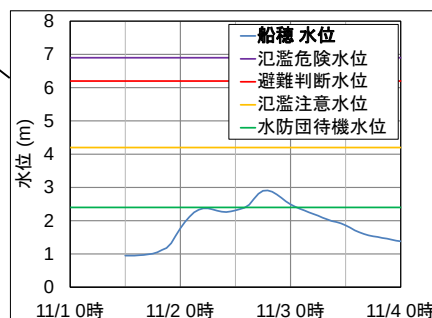
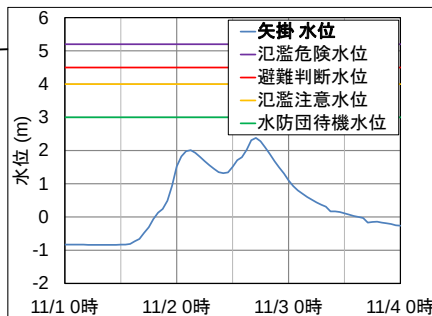
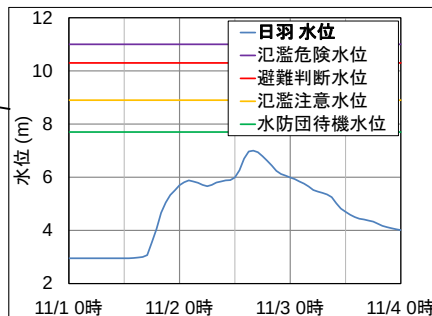
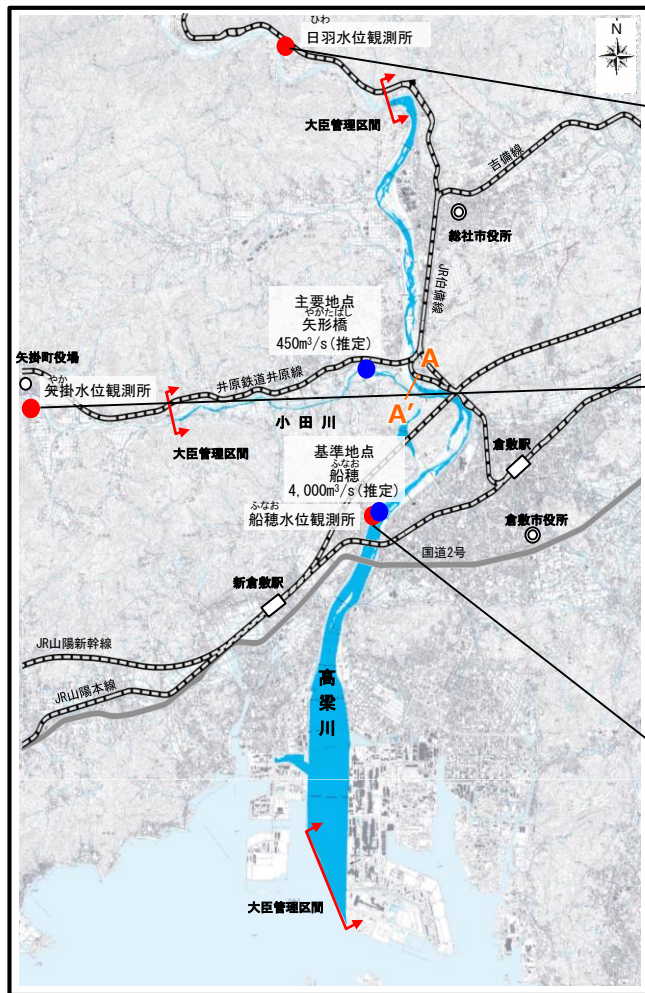


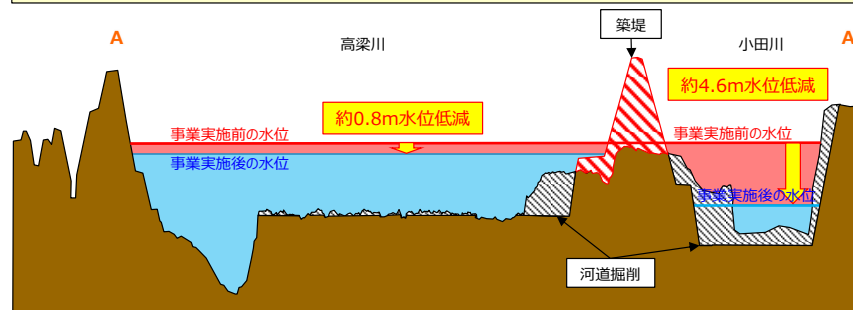
小田川合流点付替え事業による水位低減効果事例(令和6年11月出水)

- 令和6年**台風第21号**から変わった低気圧と前線の影響により、岡山県では多いところで**総降水量が150mm**に達する大雨となり、高梁川の船穂水位観測所では平水位から**約2.0m水位が上昇**。
- 小田川合流点付替え事業が完成したことにより、小田川は高梁川からの**背水の影響が減少し、水位が大幅に低減**。
- 小田川旧合流点付近では、事業実施前に比べ、**高梁川側で約0.8m、小田川側で約4.6mの水位低減効果**があったと推定。

■ 令和6年11月出水の河川水位グラフ



水位低減効果イメージ(A-A')



※本資料の数値等は速報値であり、今後変更となる場合あり

■ 令和6年11月出水(11/2 17:30)の河川水位状況



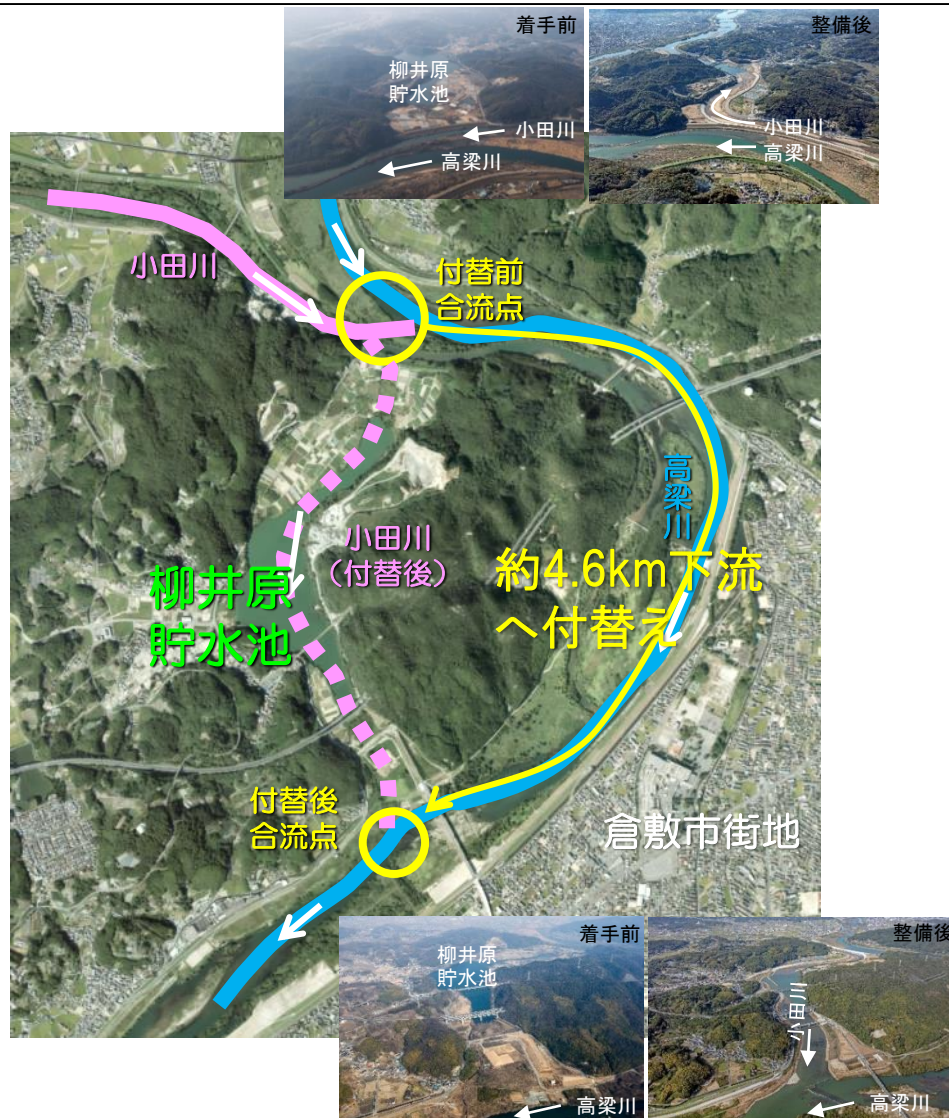
清音古地より締切堤防(旧合流点)を臨む



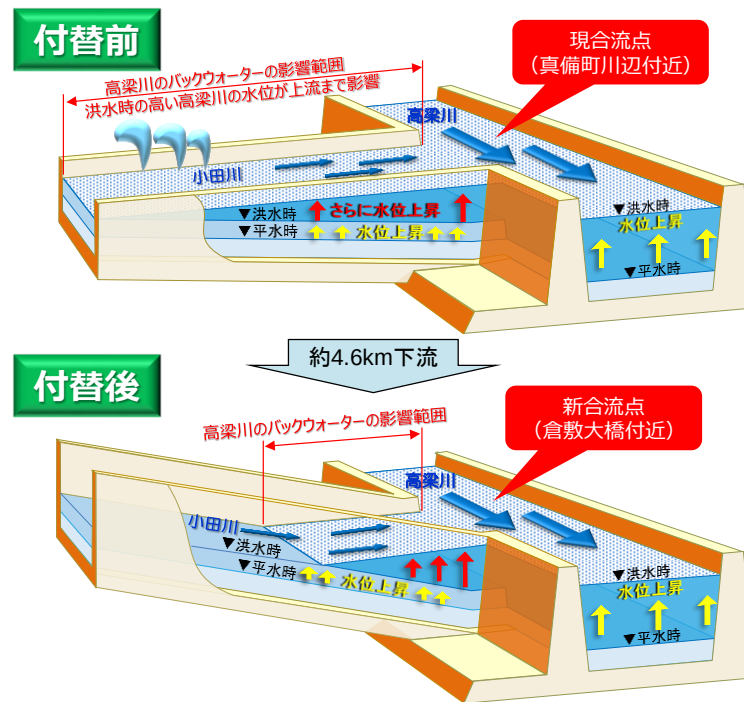
小田川南山橋付近より下流を臨む

令和6年3月に小田川合流点付替え事業が完成

- 柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約4.6km下流へ付け替えることにより、高梁川のバックウォーターによる小田川への影響を小さくするとともに、倉敷市街地における治水安全度の向上を図る。
- 平成26年から事業着手し、約15年間で整備することとしていたが、平成30年7月豪雨により小田川等の堤防が決壊し、倉敷市真備町において甚大な被害が発生したことから、河川激甚災害対策特別緊急事業として、完成予定を5年前倒し、**令和6年3月に完成**。



■小田川合流点付替えによる整備効果イメージ



➤ 令和6年3月23日に小田川合流点付替え事業等竣工記念式典を举行

